

# 2020年1月期 第3四半期 決算説明会

株式会社 シーイーシー

2019年12月16日

この度は、当社におきまして仕入販売に係る不適切行為が判明し、これに伴い第2四半期報告書提出の遅延、さらには過年度決算の訂正等を行うこととなり、株主の皆様をはじめとするステークホルダーの方々に、多大なご心配、ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申しあげます。今後、再発防止策を着実に実行に移して倫理ある事業活動を推進し、グループ一丸となって信頼回復に努めてまいります。

- はじめに
- 2020年1月期 第3四半期 経営成績
- 2020年1月期 通期業績見通し
- おわりに



*Shape your future*

はじめに  
はじめに

## ■ 当該事案の経緯

- 四半期報告書作成過程で、会計監査人より不適切取引の疑義につき指摘を受ける  
特別調査委員会の設置／四半期報告書の提出期限延長
- その後、特別調査委員会による調査過程において、新たな疑義が発生  
特別調査委員会の体制強化／四半期報告書の提出期限再延長

特別調査委員会より調査報告書を受領

- ・ 仕入販売取引の一部において実体のない取引を行っていた
- ・ また、在庫を取扱う取引の一部において売上の前倒し計上を行っていた

四半期報告書提出

不適切な取引・会計処理が影響する過年度決算を訂正  
特別調査委員会の提言を踏まえ、再発防止策を検討・策定

# 第2四半期報告書提出延期の経緯と対応

## ■ 業績への影響

### ● 過年度決算の訂正概要

(当該事案とは異なる、後発事象として判明した不採算案件による影響額も含む)

単位：百万円

	項目	訂正前	疑義及び 類似案件	後発事象 不採算案件	訂正合計 (影響額)	影響率	訂正後
第51期 (2019年1月期) 通期	売上高	50,005	-194	-	-194	-0.39%	49,810
	営業利益	4,982	-51	-	-51	-1.02%	4,931
	経常利益	5,058	-17	-	-17	-0.35%	5,041
	当期純利益	3,400	-539	-	-539	-15.86%	2,861
第52期 (2020年1月期) 第1四半期	売上高	12,725	-85	-	-85	-0.67%	12,640
	営業利益	1,619	-2	-	-2	-0.17%	1,617
	経常利益	1,648	0	-	0	0.05%	1,649
	四半期純利益	1,125	0	-	0	0.05%	1,125
第52期 (2020年1月期) 第2四半期	売上高	25,375	-133	-	-133	-0.53%	25,241
	営業利益	3,080	2	-211	-209	-6.80%	2,870
	経常利益	3,132	8	-211	-203	-6.49%	2,929
	四半期純利益	2,147	5	-146	-141	-6.57%	2,006

※「当期純利益」は「親会社株主に帰属する当期純利益」、「四半期利益」は「親会社株主に帰属する四半期利益」を示す。以降同じ。

## ■ 再発防止策

特別調査委員会の調査報告にて指摘された問題点につきまして、社外取締役を中心とした再発防止策検討チームを立ち上げ、実効性のある改善策を検討し、12月10日に公表いたしました。

1. トップマネジメントによる法令及び会計基準遵守のメッセージ
2. 内部管理体制の強化
3. 教育研修及びその実効性確保措置の実施
4. 仕入販売取引に関する適切な管理体制の構築を踏まえた継続可否の検討
5. 主要会議体における承認事項・報告事項の見直し
6. 予算策定プロセスの見直し
7. 評価制度の見直し及び透明性確保
8. 組織体制並びに業務執行役員の組織分担見直し
9. 承認・決裁権限の見直し
10. 社内コミュニケーションの改善



Shape your future

# 2020年1月期 第3四半期 経営成績



# 第3四半期実績 前年比較

(単位：百万円)

	2019年1月期	2020年1月期				
	3Q実績	1Q実績	2Q実績	3Q実績	前年比 増減額	前年比 増減率
売上高	36,979	12,640	25,241	<b>38,087</b>	+1,107	+3.0%
営業利益	3,696	1,617	2,870	<b>4,438</b>	+742	+20.1%
営業利益率	10.0%	12.8%	11.4%	<b>11.7%</b>	(+1.7%)	-
経常利益	3,722	1,649	2,929	<b>4,507</b>	+784	+21.1%
経常利益率	10.1%	13.0%	11.6%	<b>11.8%</b>	(+1.8%)	-
四半期純利益	2,500	1,125	2,006	<b>2,897</b>	+397	+15.9%
四半期純利益率	6.8%	8.9%	7.9%	<b>7.6%</b>	(+0.8%)	-

# 業績進捗状況

(単位：百万円)

	2020年1月期 期初予想	2020年1月期 修正予想	2020年1月期3Q実績		
				期初予想に対する 進捗率	修正予想に対する 進捗率
売上高	51,500	52,000	<b>38,087</b>	74.0%	73.2%
営業利益	5,150	5,750	<b>4,438</b>	86.2%	77.2%
営業利益率	10.0%	11.1%	<b>11.7%</b>	—	—
経常利益	5,200	5,800	<b>4,507</b>	86.7%	77.7%
経常利益率	10.1%	11.2%	<b>11.8%</b>	—	—
当期純利益 (四半期純利益)	3,500	4,000	<b>2,897</b>	82.8%	72.4%
当期純利益率 (四半期純利益率)	6.8%	7.7%	<b>7.6%</b>	—	—

# 業績ハイライト（全体概要）

**売上高 38,087百万円（前年比+1,107百万円）**

◆ **デジタルインダストリー事業 (+681百万円)**

- ・スマートファクトリー事業は前期比増で推移
- ・組立製造業向けシステム開発や製品開発支援サービスが堅調に推移
- ・中部・西日本地域におけるシステム開発が好調

◆ **サービスインテグレーション事業 (+425百万円)**

- ・セキュリティサービス事業は計画通り推移
- ・公共分野を中心にシステム開発とICTインフラ構築サービスなどICTサービス全般が伸長
- ・マイグレーションサービスが好調

**営業利益 4,438百万円（前年比+742百万円）**

- ・収益性の高い商談の獲得増加
- ・生産性向上による利益増
- ・一部の開発商談において不採算案件が発生

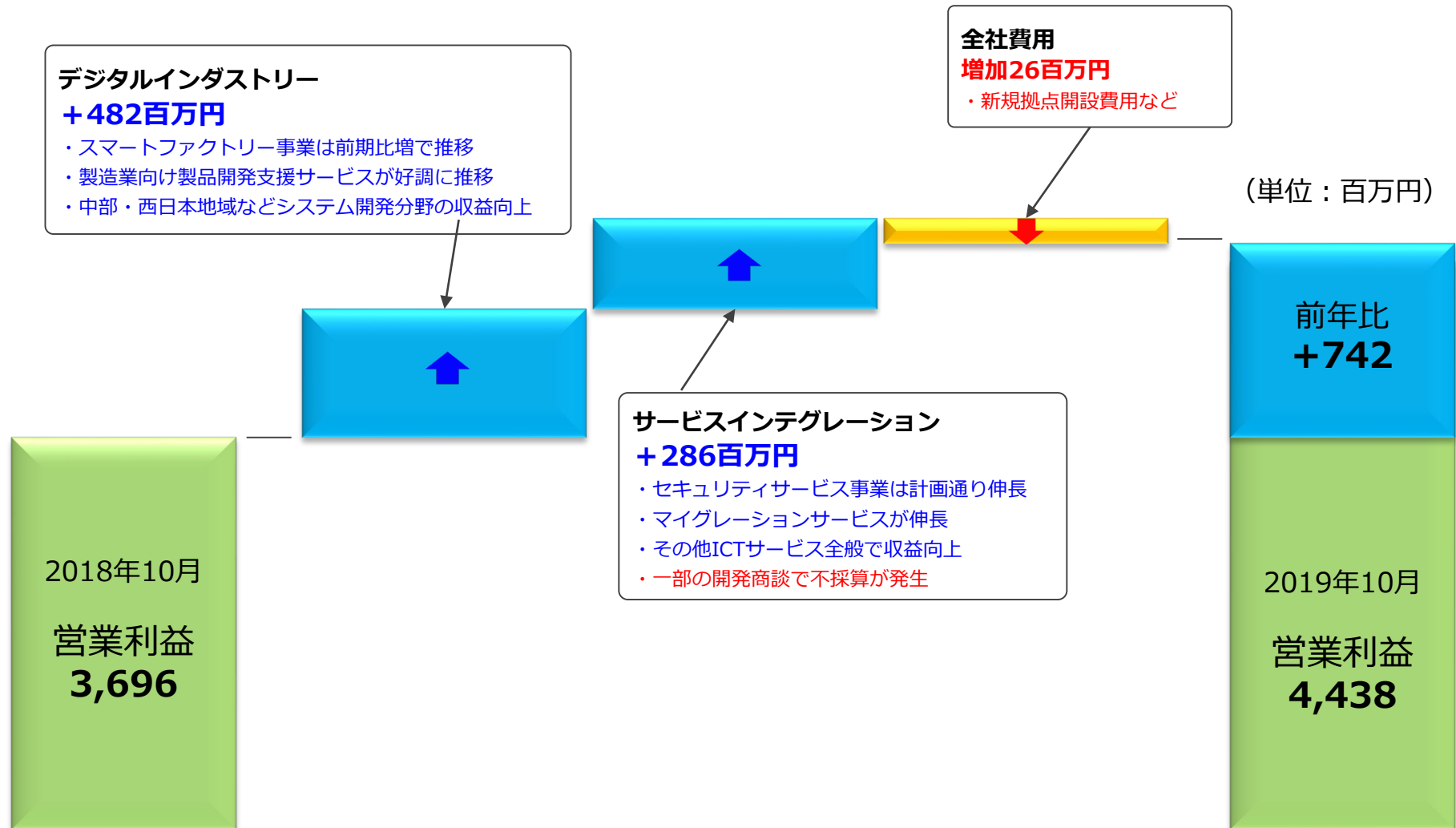
**経常利益 4,507百万円（前年比+784百万円）**

- ・営業利益の増加に伴う利益増

**四半期純利益 2,897百万円（前年比+397百万円）**

- ・経常利益増加に伴う利益増
- ・特別調査委員会の費用等を特別損失に計上

# 連結営業利益の主な増減要因



## ■ マイグレーションの需要

近年、下記顧客課題・ニーズに伴い、大きく需要が伸びている状況。

### 【顧客の課題】

- ✓ MS製品の2020年サポート終了など、保有資産（ハードウェアやDB）の保守切れに伴い、セキュリティの脅威、高額な運用コストが懸念される
- ✓ レガシーシステムの保守・運用の属人化及び高齢化による技術者不足や技術スキルアンマッチ課題

### 【顧客ニーズ】

- ◆ 業務はそのまま新しいシステムに切り替えたい
- ◆ 技術者にマッチしたシステム（言語やDB）に移行したい
- ◆ ハードウェアを保有せず、クラウド上に載せ替えたい 等

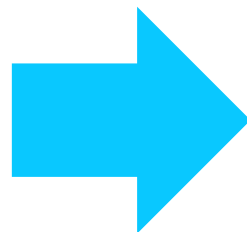
## サービスメニュー例

### Re@noveサービス

- ・ VBマイグレーション
- ・ Strutsマイグレーション
- ・ Flash/Flexマイグレーション
- ・ DBマイグレーション

### その他サービス

- ・ AWS移行サービス
- ・ Windows10アップデート
- ・ データ移行サービス
- ・ BPOサービス
- ・ DB性能分析ツール



マイグレーションサービス  
**Re@nove**® リノーブ

**3Q累計売上高  
 前年比 80%増!**

## 導入プロセス

無料診断

- ・ 移行テストの分析
- ・ 移行方式の提案
- ・ 移行費用・期間の算出

調査分析  
 POC

- ・ 調査分析、設計
- ・ パイロットコンバージョン実施

見積り

- ・ お見積り

本格対応

- ・ 自動コンバート
- ・ 手動コンバート
- ・ 動作確認

# 事業セグメント別 第3四半期 前年比較

(単位：百万円)

	2019年1月期 3Q実績		2020年1月期 3Q実績		増減額	
	売上高	営業利益 利益率	売上高	営業利益 利益率	売上高 (増減率)	営業利益 (増減率)
デジタル インダストリー	12,354	2,388 19.3%	<b>13,036</b>	<b>2,871</b> 22.0%	+681 (+5.5%)	+482 (+20.2%)
サービス インテグレーション	24,624	3,823 15.5%	<b>25,050</b>	<b>4,110</b> 16.4%	+425 (+1.7%)	+286 (+7.5%)
全社費用	—	▲2,516	—	▲2,542	—	▲26
全事業	36,979	3,696 10.0%	<b>38,087</b>	<b>4,438</b> 11.7%	+1,107 (+3.0%)	+742 (+20.1%)

# 注力事業 第3四半期 前年比較

- 国内企業のIT投資意欲は高水準を維持、  
注力事業は前年比21.5%の伸長

<u>前年との売上比較</u>	2019年1月期 3Q実績	2020年1月期 3Q実績	前年比 増減額	前年比 増減率
スマートファクトリー 事業	21.7億円	<b>23.6億円</b>	<b>+1.9億円</b>	<b>+8.7%</b>
セキュリティサービス 事業	20.5億円	<b>27.7億円</b>	<b>+7.1億円</b>	<b>+34.9%</b>
合計	42.3億円	<b>51.4億円</b>	<b>+9.0億円</b>	<b>+21.5%</b>



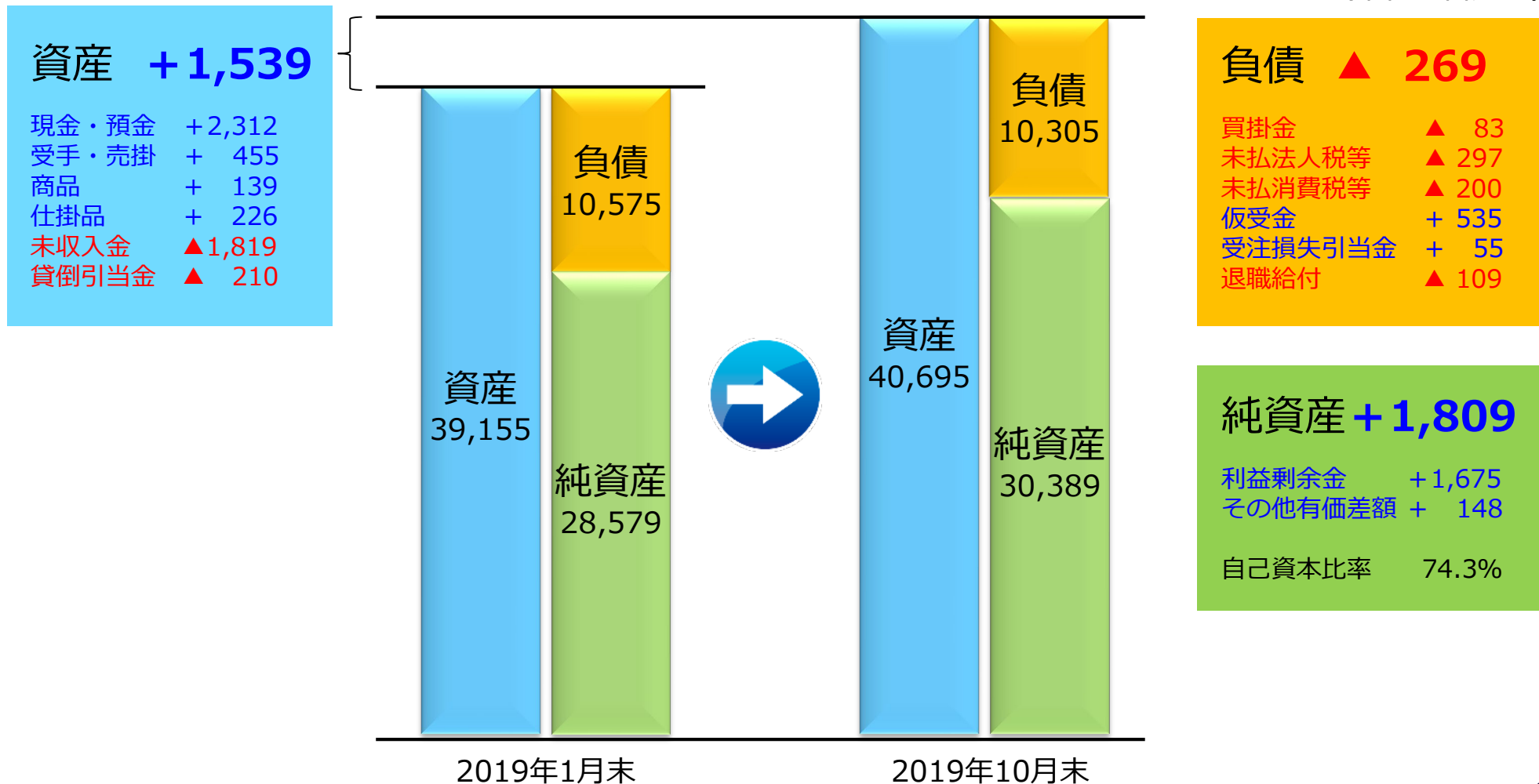
# 業種別売上 第3四半期 前年比較

(単位：百万円)

	2019年1月期 3Q実績	2020年1月期 3Q実績	前年比	
			増減額	増減率
製造業 (構成比)	16,558 (44.8%)	<b>17,492</b> <b>(45.9%)</b>	+934	+5.6%
通信・情報業 (構成比)	9,052 (24.5%)	<b>8,835</b> <b>(23.2%)</b>	▲216	▲2.4%
金融業 (構成比)	4,348 (11.8%)	<b>4,516</b> <b>(11.9%)</b>	+167	+3.9%
流通業 (構成比)	1,912 (5.2%)	<b>1,803</b> <b>(4.7%)</b>	▲108	▲5.7%
官公庁 (構成比)	1,707 (4.6%)	<b>2,037</b> <b>(5.3%)</b>	+329	+19.3%
その他 (構成比)	3,400 (9.2%)	<b>3,401</b> <b>(8.9%)</b>	+0	+0.0%
合計	36,979	<b>38,087</b>	+1,107	+3.0%

# 連結貸借対照表 期首との比較

(単位：百万円)





# 2020年1月期 通期業績見通し

世界情勢の変化や景気変動には注意を要するが、DX推進を背景に様々な分野の成長戦略においてIT活用が重要とされ、  
**IT市場については技術者不足もあり、当面は活況が続く。**

当社は企業としての基本に立ち返り

## 「持続的成長」を目指す

- ① 職業倫理を持った事業活動の推進
- ② 事業効率の向上と事業品質の向上を両立

## シンギュラリティ

技術的特異点  
2045年まで、あと26年

AI

ロボット

自動運転

超高速無線通信

量子コンピュータ

- ICT技術で、「不可能が可能に」
- 人間とAI(人工知能)が共存する社会
- SFの世界が現実となる

**デジタル・トランスフォーメーションはさらに加速**

# 業績予想と前年実績の比較

	2019年1月期 通期実績	2020年1月期 業績予想 (通期)		
			増減額	増減率
売上高	49,810	<b>52,000</b>	+2,190	+4.4%
営業利益	4,931	<b>5,750</b>	+819	+16.6%
営業利益率	9.9%	<b>11.1%</b>	(+1.2%)	—
経常利益	5,041	<b>5,800</b>	+759	+15.1%
経常利益率	10.1%	<b>11.2%</b>	(+1.1%)	—
当期純利益	2,861	<b>4,000</b>	+1,139	+39.8%
当期純利益率	5.7%	<b>7.7%</b>	(+2.0%)	—

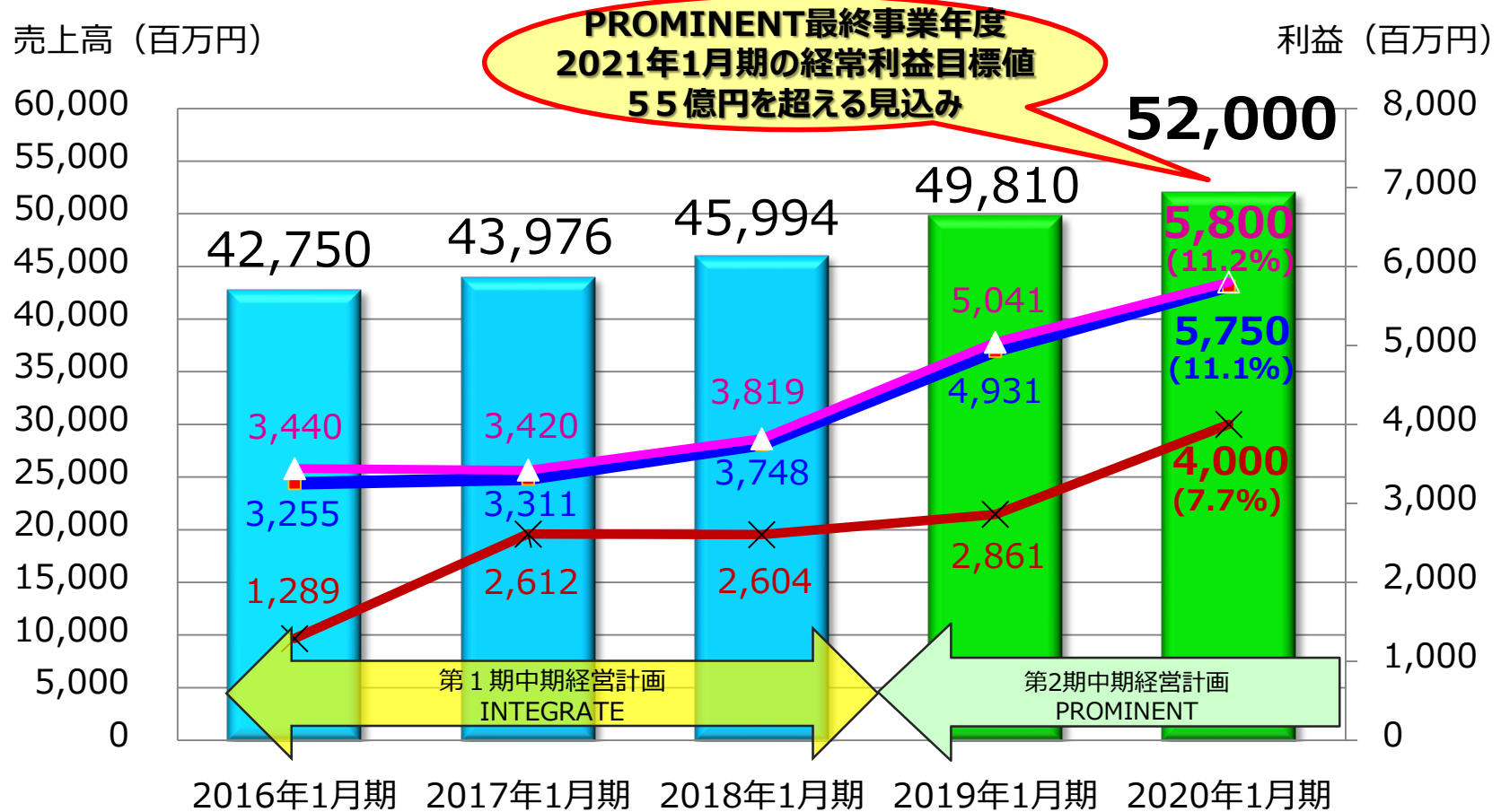
# 事業セグメント別（業績予想と前年実績の比較）

（単位：百万円）

	2019年1月期 通期実績		2020年1月期 業績予想（通期）		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
デジタル インダストリー	16,583	3,307	<b>17,800</b>	<b>3,650</b>	+1,217	+343
サービス インテグレーション	33,227	5,166	<b>34,200</b>	<b>5,630</b>	+973	+464
全社費用	—	▲3,542	—	▲3,530	—	+12
全事業	49,810	4,931	<b>52,000</b>	<b>5,750</b>	+2,190	+819

# 業績予想と過去5年の推移

## ■ 連続増収増益を見込む、経常利益率は11.2%を予定



■ 売上 
 ■ 営業利益 
 —▲— 経常利益 
 —×— 当期純利益 
 ※ ( )内は売上高利益率



## ■ 通期予想

	2019年1月期 売上実績	2020年1月期 通期予想		
		内、3Q累計	進捗率	
デジタルインダストリー	165億円	178億円	130億円	73.2%
内、スマートファクトリー事業	30億円	38億円	23.6億円	62.2%

## ■ スマートファクトリー事業

- スマートファクトリー事業は前年比増で推移も目標値に対し進捗に遅れ
  - ・ 製造業の I T 投資は D X 需要の伸びで前年比増も、期初計画から抑制傾向
  - ・ Visual Factory Ver2.0の市場投入遅れも要因の一つ
- スマートファクトリー事業の目標達成に向けて
  - ・ 組立加工分野を中心に、工場のIoT化支援、作業者支援サービス等の拡販に注力

## ■ 製造業向けシステム開発事業

- 中部地域、西日本地域のシステム開発商談は活況
- トラック待機時間削減を実現する物流サービス（LogiPull）の拡販に注力
  - ・ 4月 入構受付管理機能の追加
  - ・ 11月 バース利用実績収集、自動音声電話呼び出し、ETC・車番認識連動の3機能に加え、バース予約スマートフォンアプリの追加

## ■ 製品開発支援サービス事業

- 組込み開発や検証は、品質改善ソリューションと合わせて堅調に推移
  - ・ 3月 ソフトウェアテストの国際基準「ISTQB Platinum Partner」に認定  
高い品質技術およびテスト技術を持った技術者集団が製品開発を支援
  - ・ 11月 品質・脆弱性管理ツール「Code Dx」によるセキュアなソフトウェア開発環境を提供

## ■ 通期予想

	2019年1月期 売上実績	2020年1月期 通期予想	2020年1月期	
			内、3Q累計	進捗率
サービスインテグレーション	332億円	342億円	250億円	73.2%
内、セキュリティサービス事業	29億円	38億円	27.7億円	73.1%

## ■ セキュリティサービス事業

- 官公庁・自治体を中心にSmartSESAMEシリーズの更なる拡販
- 工場セキュリティソリューションのアライアンス強化とサービス拡充に注力
  - ・ 6月 ストラタス、トレンドマイクロと産業用制御システムの領域で協業
  - ・ 10月 「セキュリティ診断サービス」に加え「緊急駆けつけサービス」など複数のサービスを追加

## ■ システム構築・開発サービス事業

### □ 全事業分野で堅調に推移

- ・ 企業・団体のDX取り組みは本格化。今後もシステム開発投資は拡大見込み
- ・ 公共分野向けのシステム開発事業は既存顧客の深耕が奏功し伸長

## ■ マイグレーションサービス

### □ ICTリノベーションサービスRe@noveが伸長

- ・ レガシーシステムの保守切れや技術者不足を背景に市場環境が活性化
- ・ 事業部・営業・プロモーションの連携強化で引き合いが増加

## ■ プロモーション活動

### □ オウンドメディアを活用し、新規顧客の開拓に注力

- ・ ICT未来図（専門情報発信サイト）やメルマガ、Webサイトリニューアル、個別相談会の開催など、多角的なアプローチを推進中



*Shape your future*

おわりに  
おわりに

顧客

パートナー  
企業

## 四面謳歌

従業員

株主

顧客・パートナー企業・従業員・株主と  
常に喜びを分かち合える会社になる

# ご清聴ありがとうございました



## Shape your future

[お問合せ先]

株式会社シーイーシー

企画部 IRグループ

03-5789-2442

経理部 IR担当

046-252-4111

- 本資料は、投資を勧誘する事を目的として作成されたものではありません。
- また、本資料に記載しております将来の業績に関する見通しは、日本経済や情報サービス産業の動向、その他現時点で入手可能な情報による判断及び仮定により、算出しております。従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、変動する可能性がある事をご承知おきください。